

木を 植える



ファレファトゥ・L, 9才 (サモア, トゥアマサガ)

夕ローファ! こんにちは!

最近、かんきょうを守る奉仕活動を初等協会でした。教会から遠くはなれた所に住んでいるのでいけないところでしたが、初等協会の指導者が車に乗せてくれたことにととても感謝しています。

プロジェクトの場所に着くと、そこはどろだらけで、寒く、じめじめしていました。でもぼくたちはやめませんでした! 子供たち一人一人に、植える木が一本ずつあたえられ、初等協会の指導者たちがそれを植える方法を教えてくれました。取り組む中で、木がなぜそれほど重要なのかを学びました。

木は地球を守る助けとなるということを学びました。木はわたしたちに実や葉、木材を与えてくれます。また、息をするための酸素も与えてくれます。

ぼくからみんなへのメッセージは、もっともっと木を植えるべきだということです! それと、地域社会で奉仕する助けとなる方法をさがしてみましょう。

この経験と、この経験が教えてくれたことに感謝しています。●

「地球と自然環境のほごは……

神からたくされた
神聖なせきにんです。」

ジェラルド・コセービショップ
「わたしたちの現世での管理人の職」
『リアホナ』2022年11月号, 58

知って
いましたか?
大きな木1本で、
最大4人分の
1日分の酸素を
供給できます!